

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	今治明德短期大学
設置者名	今治明德学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門 科目	合計		
	ライフデザイン学科 介護福祉コース	夜・通信	19	15	54	73	7	
	ライフデザイン学科 食物栄養コース	夜・通信			16	50	7	
	ライフデザイン学科 スイーツ・カフェコース	夜・通信			18	52	7	
	ライフデザイン学科 国際観光ビジネスコース	夜・通信			14	48	7	
	幼児教育学科	夜・通信			45	63	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.meitan.ac.jp/syllabus2021/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	今治明德短期大学
設置者名	今治明德学園

1. 理事（役員）名簿の公表

https://www.meitan.ac.jp/daigaku/pdf/05_02.pdf?

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 役員	2020.9.6 ~ 2023.9.5	総務担当
非常勤	株式会社 役員	2020.9.6 ~ 2023.9.5	財務担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	今治明德短期大学
設置者名	今治明德学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>1. 授業計画書作成前に、シラバス作成要領を配布し説明を行う。 要綱には、授業計画書に記載する内容(科目名・担当・DPとの関連・授業の目的とテーマ・到達目標・全体計画・時間外学習・評価方法・使用テキストなど)の各項目について、注意事項が記載されている。</p> <p>2. 各教員が授業計画書を作成</p> <p>3. 作成された授業計画書を、作成者以外の教員でチェックを行い、記入漏れや訂正箇所、不足事項などあれば修正する。</p> <p>4. すべての授業計画書は、履修指導前に公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.meitan.ac.jp/syllabus2020/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>学習支援については、指導教員及び教務委員会による履修モデルに基づいた指導を定期的に行っている。</p> <p>各授業評価の単位認定は、科目担当者の評価が合格点に達していることで認定する。</p> <p>成績評価の基準は、授業計画書において「定期試験50%、授業中に行う小テスト30%、授業への参加度20%」など、評価基準の割合を明示している。成績は、秀・優・良・可・不可の5段階で示すこととしている。</p> <p>また、各授業科目の単位が認定され、累積されて卒業要件単位を充足した学生は、教授会の意見を聞いて、学長が卒業を認定する。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>適切な学習指導に資するため、GPAを算定する制度を定めている。 GPAは、成績優秀者に対する学長賞等の表彰及び成績不振者に対する指導、退学勧告に用いる。 GPAの算出の対象授業科目は、5段階の成績評価によって成績を受けた授業科目であり、本学で開講されているすべての科目となる。 GPは、成績の段階ごとに、「秀 4.00、優 3.00、良 2.00、可 1.00、不可・評価外 0.00」を付与する。 GPAは学期GPA (学期ごと) と累積GPA (入学期から当学期まで) の2種類としており、それぞれの計算方法は以下のとおりである。</p> <p>・学期GPA $\frac{\text{(当該期に評価を受けた科目のGP} \times \text{その科目の単位数)}}{\text{当該期の総履修登録単位数}}$</p> <p>・累積GPA $\frac{\text{(各学期に評価を受けた科目のGP} \times \text{その科目の単位数)}}{\text{総履修登録単位数}}$</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.meitan.ac.jp/daigaku/pdf/02_05.pdf?0
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学に2年以上在学し、所定の授業科目の単位が認定され累積されて卒業要件単位を充足した学生は、教授会の審議を経て、学長が卒業を認定する。 学長は、卒業を認定した者に、本学学位規定の定めるところにより短期大学士の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学則第50条 ・アセスメントポリシー ・学習成果の評価の方針 ・大学DP、学科DP 	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.meitan.ac.jp/daigaku/pdf/02_06.pdf?0 https://www.meitan.ac.jp/daigaku/admpolicy.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	今治明德短期大学
設置者名	今治明德学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.meitan.ac.jp/daigaku/pdf/03_02.pdf?r1
収支計算書又は損益計算書	https://www.meitan.ac.jp/daigaku/pdf/03_01.pdf?r1
財産目録	https://www.meitan.ac.jp/daigaku/pdf/03_03.pdf?r1
事業報告書	https://www.meitan.ac.jp/daigaku/pdf/03_04.pdf?r1
監事による監査報告(書)	https://www.meitan.ac.jp/daigaku/pdf/03_05.pdf?r1

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:令和3年度今治明德短期大学事業計画対象年度:令和3年度)
公表方法: https://www.meitan.ac.jp/daigaku/pdf/06.03.pdf
中長期計画(名称:今治明德学園中長期計画 対象年度:2021~2025)
公表方法 https://www.meitan.ac.jp/daigaku/pdf/06.01.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法 https://www.meitan.ac.jp/daigaku/hyoka.html
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法 https://www.meitan.ac.jp/daigaku/hyoka.html
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 ライフデザイン学科、幼児教育学科
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.meitan.ac.jp/daigaku/policy.html)
(概要) <ライフデザイン学科> 1) 本学科が培ってきた教育の伝統を継承しつつ、新しい時代にふさわしい人間性豊かな人材として育ち、社会生活の多様化に適応して自己判断・自己選択できる能力を養い、将来の確かなライフデザインを構築すること。 2) 将来を見据え、社会に貢献できる専門性の高い知識と実践力を身に付け、必要な免許資格を取得すること。 <幼児教育学科> 深い知性と高い徳性を具えた人間、また柔軟で創造的な心性に基づく優れた専門能力をもつ幼児教育者となること。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.meitan.ac.jp/daigaku/admpolicy.html)
(概要) <ライフデザイン学科> 学科の教育目的・目標に基づいて開設される教育課程の科目を修め、学則に定める成績評価に基づき、卒業に必要な単位を修得し、地域志向の専門職業人としての資質を身につけた者に対して短期大学士の学位 (生活科学) を授与する。 <幼児教育学科> 学科の教育目的・目標に基づいて開設される教育課程の科目を修め、学則に定める成績評価に基づき、卒業に必要な単位を修得し、かつ、幼稚園教諭・保育士としての専門的な知識及び技術、多様なニーズに対応できる保育実践力、また、主体性をもち他と協働しつつ地域社会に貢献できる資質を身につけた者に対して短期大学士の学位 (教育学) を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 https://www.meitan.ac.jp/daigaku/admpolicy.html)
(概要) <ライフデザイン学科 介護福祉コース> 1 介護福祉に関する教育課程を編成し、介護福祉に関わる専門職として必要な素養を身につけることを目指す。 2 介護福祉に関する教育課程を編成し、介護福祉に関わる専門職として必要な知識・技能を修得することを目指す。 3 介護福祉に関する教育課程を編成し、介護福祉に関わる専門職として必要な多職種との連携の必要性を理解することを目指す。 <ライフデザイン学科 食物栄養コース> 1 栄養士に関する教育課程を編成し、栄養士として必要な専門的知識と技能の修得を目指す。 2 栄養士に関する教育課程を編成し、栄養士として必要な思考力・判断力・表現力の涵養を目指す。 3 栄養士に関する教育課程を編成し、栄養士として主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度の涵養を目指す。 <ライフデザイン学科 スイーツ・カフェコース> 1 製菓衛生師に関する教育課程を編成し、製菓衛生師として必要な専門的知識と技能の

<p>修得を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 製菓衛生師に関する教育課程を編成し、製菓衛生師として必要な思考力・判断力・表現力の涵養を目指す。 製菓衛生師に関する教育課程を編成し、製菓衛生師として主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度の涵養を目指す。 <p><ライフデザイン学科 国際観光ビジネスコース></p> <ol style="list-style-type: none"> 観光分野に関する教育課程を編成し、国内旅行業務取扱管理者として必要な専門的知識とホスピタリティー技能の修得を目指す。 国際コミュニケーション分野に関する教育課程を編成し、英語や中国語（留学生に日本語）など実用的な外国語会話の修得を目指す。 ビジネス分野に関する教育課程を編成し、ビジネス社会において必要な専門的知識や技能の修得を目指す。 <p><幼児教育学科></p> <ol style="list-style-type: none"> 幼児教育・保育に関する教育課程を編成し、幼稚園教諭・保育士として必要な専門的知識と技能の修得を目指す。 幼児教育・保育に関する教育課程を編成し、幼稚園教諭・保育士として必要な思考力・判断力・表現力及び保育実践力の涵養を目指す。 幼児教育・保育に関する教育課程を編成し、幼稚園教諭・保育士として地域社会で主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度の涵養を目指す。
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法 https://www.meitan.ac.jp/daigaku/admpolicy.html)</p>
<p>(概要)</p> <p><ライフデザイン学科 介護福祉コース></p> <ol style="list-style-type: none"> 知識・技能 入学後の修学に必要な基礎的学力を有する者。 思考力・判断力・表現力 他者の生活課題を的確に把握し、多様な方法をもって対応することができる者。 主体性・多様性・協働性 他者の心に寄り添え、介護福祉観を身につけることができる者。介護福祉への関心が高く、地域に住まう他者の人生・生活を支える情熱をもっている者。 <p><ライフデザイン学科 食物栄養コース></p> <ol style="list-style-type: none"> 知識・技能 入学後の修学に必要な基礎的学力を有する者。 思考力・判断力・表現力 他者のニーズを的確に判断し、多様な方法でもって対応できる者。また、その自分の成長を広く地域社会に還元できる者。 主体性・多様性・協働性 他者を思いやる気持ちを持ち、共感的理解を深める事ができる者。また、栄養への関心が高く、自分の成長を広く他者へ還元し、地域社会貢献を積極的にできる者。 <p><ライフデザイン学科 スイーツ・カフェコース></p> <ol style="list-style-type: none"> 知識・技能 入学後の修学に必要な基礎的学力を有し、興味・関心を抱きながら目標達成に向けて自己鍛錬ができる者。 思考力・判断力・表現力 他者のニーズを的確に判断し、多様な方法でもって対応できる者。また、自らが得た知識やアイデアを積極的に他者へ伝える努力ができる者。 主体性・多様性・協働性 他者を思いやる気持ちを抱き、何事にも自主的に全力で取り組むことができる者。また、地域社会とのつながりを大切にし、学びから修得したものを還元できる者。 <p><ライフデザイン学科 国際観光ビジネスコース></p>

- 1 知識・技能
入学後の修学に必要な基礎学力を有している者。
 - 2 思考力・判断力・表現力
専門知識を学び、資格を取得し、それを活用できる者。
 - 3 主体性・多様性・協働性
異文化理解を深めることができ、国際観光ビジネスへの関心が高く、自身が学びたい分野で多様な人々と協働して地域社会で活躍していきたいという意欲を持つ者。
- <幼児教育学科>
- 1 知識・技能
入学後の修学に必要な基礎的学力を有する者。
 - 2 思考力・判断力・表現力
入学までに身に付けた知識や技能を用い、自ら考え、適切な方法で表現することができる者。
 - 3 主体性・多様性・協働性
幼稚園教諭・保育士を目指し、その目的を達成するために、積極的に学ぶ意欲及び他者と協力しつつ課題に取り組む姿勢がある者。また、地域に根差し、地域社会全体での子育てに取り組む実践力の修得を目指す者。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://www.meitan.ac.jp/daigaku/pdf/02_01.pdf?r1

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
ライフデザイン学科	—	2人	2人	8人	0人	0人	12人
幼児教育学科	—	2人	2人	2人	0人	0人	6人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1人		54人					55人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法 https://www.meitan.ac.jp/daigaku/pdf/02_01.pdf?r1					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）に加入							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
ライフデザイン学科	100人	45人	45%	200人	117人	58.5%	人	人
幼児教育学科	40人	21人	53%	80人	41人	51.3%	人	人
合計	140人	66人	47.1%	280人	158人	56.4%	人	人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
ライフデザイン学科	73人 (100%)	7人 (10%)	33人 (45%)	33人 (45%)
幼児教育学科	22人 (100%)	0人 (0%)	21人 (95%)	1人 (5%)
合計	95人 (100%)	7人 (7.4%)	54人 (56.8%)	34人 (35.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 地元企業(施設等)に8割程度就職				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
ライフデザイン学科	62人 (100%)	53人 (85.5%)	3人 (4.8%)	5人 (8.1%)	1人 (1.6%)
幼児教育学科	27人 (100%)	20人 (74.1%)	4人 (14.8%)	3人 (11.1%)	0人 (0%)
合計	89人 (100%)	73人 (82.0%)	7人 (7.9%)	8人 (9.0%)	1人 (1.1%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>1. 授業計画書作成前に、シラバス作成要領を配布し説明を行う。 要綱には、授業計画書に記載する内容（科目名・担当・DPとの関連・授業の目的とテーマ・到達目標・全体計画・時間外学習・評価方法・使用テキストなど）の各項目について、注意事項が記載されている。</p> <p>2. 各教員が授業計画書を作成</p> <p>3. 作成された授業計画書を、作成者以外の教員でチェックを行い、記入漏れや訂正箇所、不足事項などあれば修正する</p> <p>4. すべての授業計画書は、履修指導前に公表する</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
<p>・学修成果に係る評価 GPA算定制度を採用し、成績優秀者は学長表彰等、成績不振者は個別指導・退学勧告等を実施</p> <p>・卒業判定 2年以上在学し、所定の授業科目の単位が認定され累積されて卒業要件単位を充足した学生は、教授会の審議を経て、学長が卒業を認定する。 学長は、卒業を認定した者に、本学学位規定の定めるところにより短期大学士の学位を授与する。（学則第50条）</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	ライフデザイン学科	62 単位	有・無	28 単位
	幼児教育学科	62 単位	有・無	28 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法 https://www.meitan.ac.jp/daigaku/pdf/02_05.pdf?0		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 ; https://www.meitan.ac.jp/daigaku/pdf/01_03.pdf?16

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	ライフデザイン学科	550,000 円	240,000 円	280,000 円	施設費、教育充実費
	幼児教育学科	550,000 円	240,000 円	280,000 円	施設費、教育充実費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・入学前教育、初年次教育の実施 ・指導教員及び教務委員会による履修モデルに基づいた履修指導を実施 ・学期終了時の学修成果、単位獲得状況に応じた学修指導の実施 ・学修ポートフォリオを基本とした学修指導及び学生生活支援の実施
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・就職・進学委員会及びキャリア支援専門員による個別指導の実施 ・キャリア支援室の設置 (専用室の設置) ・進路希望調査の実施 ・教育・進路懇談会 (保護者及び学生) の実施
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・学生定期健康診断の実施 ・健康診断問診票による心身の健康等の把握 ・担当教職員による学生相談の実施 (学生生活、家族、恋愛等) ・指導教員及び学生委員会による学生生活上の各種事項の助言・指導等の実施

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 ; https://www.meitan.ac.jp/daigaku/kokai.html
--